

## ① さいたま市図書館の一年（16年度）

### ● 概要と展望（平成16年度から17年度）

平成16年度はさいたま市図書館にとって記念すべき年となった。合併以来最大の懸案であった図書館コンピュータシステムの一元化が実現し、利用者カードも統一された。インターネット上でも全ての館の資料が検索可能になり、職員にも利用者にも使いやすい環境が整った。また平成17年6月からはインターネット及び館内利用者用検索端末からの予約・利用状況確認が可能になり、これと同時に電話音声自動応答サービスも実現した。

図書館整備については16年7月に桜木図書館が開館、続いて17年4月1日をもって岩槻区の岩槻図書館、岩槻駅東口図書館、岩槻東部図書館が加わった。さらに平成17年7月に桜図書館が誕生した。これにより、さいたま市10区全部に図書館が整備されたことになる。今後は「公共施設適正配置方針」に従って、18年度に（仮称）片柳図書館、19年度から20年度にかけて中央図書館、（仮称）プラザノース図書館が整備される予定になっている。

利用状況を見ると、岩槻区分を含めた貸出点数が初めて800万点を超えた。これから図書館整備が進むにつれて、市民の利用はますます増大し、登録率も上昇すると考えられる。

平成15年10月に始まったブックスタート事業は16年度も全図書館が参加した。子どもの自主的読書を支援する「さいたま市子ども読書活動推進計画」がまもなく策定される予定であり、児童、乳幼児に対するサービスはますます重要度が高まっている。

### ● 祝日開館・月末開館の拡大実施 平成16年4月

15年度に北浦和・東浦和・大宮・大宮西部の4館が試行した祝日開館を南浦和・与野を加えた6館で正式に実施（7月から桜木も）。併せて大宮東・春野・七里・宮原・馬宮の5館で月末開館を開始した。

### ● 連絡便（業務委託）の拡大運行 平成16年4月

15年度に週1回運行でスタートした全館連絡便が16年度から土日を除く毎日巡回へ拡大。さらに平成17年4月からは岩槻区を含めて2台による巡回を開始した。

### ● 桜木図書館開館 平成16年7月

平成16年7月1日、さいたま市の16番目の図書館として、大宮駅西口のシーノ大宮に桜木図書館が誕生した。

### ● 新コンピュータシステム稼働開始 平成17年3月

平成17年2月14日（月）から月末まで全館休館による移行作業により、3月1日から新コンピュータシステムが稼働し、全館がオンラインでつながった。